

## 21 教 員 研 修

### (1) 特別支援教育新任担当教員研修会

新任特別支援学級担任教員及び通級指導教室の新任担当教員に対して、専門職としての必要な研修を行い教職員としての資質の向上を図った。

第1回 4月15日(月) 総合教育センター  
第2回 以下のとおり 総合教育センター

対象者	期日
小学校 自閉症・情緒障がい特別支援学級担任	6月6日(木)
小学校 知的障がい特別支援学級担任	6月27日(木)
中学校 特別支援学級担当	7月4日(木)

### (2) 新規採用養護教諭研修

新規採用養護教諭に対し、養護に関する専門職としての必要な研修を行い、教職員としての資質の向上を図った。

研 修 名	期 日	場 所
初任研スタート研修	4月16日(火)	総合教育センター
教職基礎研修(高校)	4月9日(火)	総合教育センター
生徒指導基礎研修(高校)	9月10日(火)	総合教育センター
夏期宿泊研修 (義務・高校)	7月30日(火), 7月31日(水)	総合教育センター
秋期研修	9月6日(金)	総合教育センター
5年経験者・初任者研修	10月1日(火)	総合教育センター

### (3) 幼稚園等新規採用教員研修会

公立幼稚園及び特別支援学校幼稚部の新規採用教員の指導力の向上を図るため、幼稚園教育の基礎、指導計画の作成と展開、指導の実際等について講義、演習等の方法により研修を実施している。

研 修 名	期 日	会 場
初任研スタート研修	5月	松本市立本郷南幼稚園
カウンセリング研修	11月	総合教育センター

#### (4) 初任者研修

現職教員研修の一環として、初任者の実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得させることを目的とし、小・中・高等学校・特別支援学校で実施した。

##### ア 研修内容

- ・校内研修・・・各自の在勤校・・・・・・・・・・年間 210 時間  
(教職大学院修了者・3年以上講師経験者は年間 150 時間)
- ・校外研修・・・総合教育センター、教育事務所等・・・2年間で 21 日  
(総合教育センターでの宿泊研修を含む)

##### イ 対象規模

	対象校	対象者
小 学 校	141 校	191 人
中 学 校	86 校	120 人
高 等 学 校	54 校	112 人
特別支援学校	16 校	49 人
計	297 校	472 人

#### (5) キャリアアップ研修 I

「長野県公立学校教員研修要綱」に基づき、在職期間が 5 年目に達した教諭等に対する研修を実施。

(平成 30 年度から、それまでであった「5 年経験者研修」を「キャリアアップ研修 I」へ名称変更した。)

##### ア 対象者

公立の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校及び幼稚園(以下「公立学校」という。)において、在職期間(一年以上連続した、休職、停職、在籍専従、育児休業及び療養休暇等を除いて計算した期間をいう。)が 5 年目に達した教諭。

##### イ 内 容

小・中・高 特別支援学 校	研 修 内 容	場 所	日 数	備 考
	生徒指導力向上研修 教師力向上研修・教職研修	総合教育センター	年間 2 日間	

※ 3 年次研修と統合(義務 R 2 年度から 4 日間、高校 R 4 年度から 3 日日)

##### ウ 令和元年度キャリアアップ研修 I 対象者数

小学校	中学校	高等学校	特別支援 学校	養護教諭	栄養教諭	計
169 人	147 人	105 人	79 人	33 人	0 人	533 人

(6) キャリアアップ研修Ⅱ（中堅教諭等資質向上研修）

教育公務員特例法の一部を改正する法律（平成14年法律第63号）の施行に伴い、在職期間10年目を迎えた教諭に対して、個々の能力、適性等に応じた研修を実施し、教科指導、生徒指導等に関する指導力の向上を図ることを目的として平成15年度から実施している。

ア 対象者

公立の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校及び幼稚園（以下「公立学校」という。）において、在職期間（一年以上連続した、休職、停職、在籍専従、育児休業及び療養休暇等を除いて計算した期間をいう。）が10年目に達した教諭。

イ 内 容

小・中・高 特別支援学 校	研 修 内 容		場 所	日 数	備 考
	校外 研修	教科指導研修 生徒指導研修 異業種体験研修 教師力向上研修等	総合教育センター 体育センター 地域の研修受入施設 対象者による会場選定	年間8日間	
	校内研修		在勤校	年間20日間	
幼 稚 園	研 修 内 容		場 所	日 数	備 考
	園外 研修	教職研修Ⅰ 教職研修Ⅱ 異業種体験研修等	総合教育センター 県庁 地域の研修受入施設 等	年間4日間	
	園内研修		在勤園	年間10日間	

ウ 令和元年度キャリアアップ研修Ⅱ（中堅教諭等資質向上研修）対象者数

※（ ）数は対象者の内、実施者数

幼稚園	小学校	中学校	高等学校	特別支援 学校	養護教諭	栄養教諭	計
0人 (0人)	144人 (77人)	81人 (57人)	63人 (52人)	36人 (27人)	18人 (10人)	13人 (13人)	355人 (236人)

### (7) キャリアアップ研修Ⅲ

「長野県教員研修体系」（平成 25 年 11 月策定）において、「ライフステージに応じた節目の教員研修」として新たに構築され、平成 26 年度から実施している。

#### ア 対象者

免許状更新講習の受講期間に該当する 40 歳代の教員で、キャリアアップ研修Ⅱ（中堅教諭等資質向上研修）を修了した者（免許状更新講習の修了確認期限内にキャリアアップ研修Ⅱ（中堅教諭等資質向上研修）を修了する見込みの者を含む）（平成 31 年度は、①平成 30 年度に対象になった者のうち、キャリアアップ研修Ⅲ報告書が提出されていない者。②平成 31 年度に新たに対象となる免許状更新講習の「第 1 グループ」のうち、生年月日が昭和 50 年 4 月 2 日～昭和 51 年 4 月 1 日の者が該当）

#### イ 内 容

研 修 内 容		場 所	日 数	備 考
校 外 研 修	校外研修 A	各講習場所	1 日	県教育委員会が指定した次のどちらかを受講 ・ 免許状更新講習（選択講習）で指定された講習 ・ 総合教育センターの希望研修で指定された講座
	校外研修 B	学校長と相談	1 日	
校 内 研 修		在勤校	1 日	

#### ウ 令和元年度キャリアアップ研修Ⅲ対象者数

小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	養護教諭	計
104 人	67 人	45 人	42 人	8 人	266 人

### (8) 「学びの改革」フロンティアスピリッツ事業

新学習指導要領が令和2年度から随時実施されるなど教育の諸課題に対応するため、教員の資質向上が求められている。しかし、教員が普段から校務等で、多忙であることから、県外の先進事例や教育に関する最新の知識に触れる機会が少ないため、以下の点を目的として実施している。

- ・義務及び高校の先進地視察などを学びの改革支援課が企画・実施し、教員の資質向上を図る。
- ・教員が視察先等を自ら探し、研修を実施する際の旅費の一部を補助し、意欲及び資質向上を図る。

研修内容	対象者	場所
小中学校 UDリーダー県外 視察研修	① 信州型ユニバーサルデザイン 推進校のUDリーダー10名 (小学校6名、中学校4名) ② 信州型ユニバーサルデザイン 推進校の校長等 10名 (小学校6名、中学校4名)	期間：令和元年11月17日(日)～19 日(火)2泊3日 場所：①独立行政法人教職員支援 機構次世代教育推進セン ター大手町事務所 ②川崎市立川崎小学校 ③西東京市立住吉小学校
高等学校 High Tech High (PBL授業デザイン 研修)	探究的な学び推進リーダー3名	期間：令和元年9月15日(日)～ 19日(木)4泊5日 場所：アメリカカリフォルニア州 High Tech High (North County校)
特別支援学校 自立活動担当教員 視察研修	自立活動担当教員 47名	期間：令和元年7月～10月 場所：研修場所は各自が希望する 特別支援学校等
自主研修支援	小学校 3名 中学校 18名 高等学校 34名 合計55名	※研修場所は各自の希望による。